

【EVとV2Hについて詳しく知ろう編】

電気自動車の
発流や太陽光で
直流の電力を

家庭で使える
交流の電力に
変換する
機器のことを

ブイツーエッチ
V2H
といえます

EV → V2H → 交流

直流

今回は
EVとV2Hに詳しい
サンエコのノボルさんに
色々聞いてみよう！

V2Hの仕組みって
どうなってるの？

代表取締役 田口 登さん

①家の200v用電源
コンセントに繋ぐ

②壁や車庫につけた
ケーブルで充電

③V2H設置して充電
(信速充電)

因みにEVの
充電方法はこちら

電気自動車を
充電して
そのまま
家の電池としても
使えるんだ！

V2Hが
世に出るまでは
EV(電気自動車)は
充電しな
出来なかつたんです

2012年に
ニチコンが開発

家庭用蓄電池

容量
20kwhまで

EV蓄電池として使う

容量
40kwh~90kwh

// 停電の時長時間使える //

こんなに
ちがうんだ...!

簡単には
容量の違いですね

家庭用蓄電池と
V2HでEVを
電池として使うのは
どこが違うの？

そしてV2Hは
この4種類が
あります！

スタンダード型
40万
100Vの家電使用のみ
200Vのエアコンや
IHは使えない
停電時、太陽光で発電した
電気は使えない

プレミアム型
80万
200Vの機器が使える
給湯もできる
停電時、手で電源を
繋ぐと切り替えができる

プレミアムPlus型
150万
停電時、自動で切り替わる

トライブリッド型V2H
300万
車の電池と家庭用蓄電池の
両方に太陽光を繋げて
すべての機能を
コントロールできる

じゃあ
カーボンニュートラル
のためにも

サービスエリア
ガソリンスタンド
など

まだまだ車種や
充電スポットが
少ないのが現状ですね

良い事が多い
EVですけど

トヨタ、ホンダも
1車種のみ

メーカーさんに
がんばって
もらわないとね！